

■ケーススタディ ■ 『投資会社と組んだ MBO』

検索方法

【M&A 案件検索】画面

■データ種別に「M&A」

※投資会社と組んだ外国企業日本法人のMBOも含む場合には■データ種別で「M&A」と「日本法人」にチェック

■検索期間に任意の期間

■キーワードで「AND」を選択して「MBO」と「投資会社（投資）」にチェック

※キーワードは一覧表示ボタンの下、▲ 詳細な条件設定 をクリックすると下方に表示

◆データ集計でマーケット別集計した結果例

投資会社と組んだMBO件数(2009-2019年)

	IN-IN	IN-OUT	OUT-IN	外国企業	合計 (件)
2009年	7	0	3	0	10
2010年	12	0	1	0	13
2011年	4	0	3	0	7
2012年	2	0	0	2	4
2013年	6	0	2	0	8
2014年	1	0	1	0	2
2015年	3	0	2	0	5
2016年	2	0	2	0	4
2017年	2	0	1	0	3
2018年	0	1	0	0	1
2019年	4	1	2	0	7
合計 (件)	43	2	17	2	64

(外国企業の欄には、検索条件指定でデータ種別の「M&A」と「日本法人」を選択した場合のみ該当件数が表示)

マールオンラインの統計表(表とグラフ)、M&A専門誌MARRの「投資会社と組んだMBOとその他のMBO件数と金額の推移」の表では外国企業も含まれています。

◆外国企業日本法人のMBO例

＜外国企業（日本法人）のM&Aデータ＞		買収 (MBO)	日付	金額	出資比率	有効日
▼当事者1 USA/GBR/その他金融/ Carlyle Japan Partners II, L.P (カライルグループ)、デイベンシー合同会社現経営陣 (三隅俊郎社長ら)	▼対価		2012/11/01	30,000百万円	0→100	
▲当事者2 USA/神奈川県/化学/未上場など/ デイベンシー合同会社 (シムトアイグループ)	▼株取得先					

ニューヨーク証券取引所上場で包装資材製造大手のシムトアイ・コーポレーション (ニュージャージー州) のグループで業務用洗剤大手の米デイベンシーの日本法人、デイベンシー合同会社 (横浜市) の三隅俊郎取締役執行者ら現経営陣は、カライルグループと共同で、デイベンシー合同会社をMBOにより買収する。カライルが運営するCarlyle Japan Partners II, L.P.を通じて、シムトアイグループから約300億円まで全持ち分を取得する。現経営陣も一部出資する。デイベンシーは、カライルグループ傘下の特別目的会社であるデイベンシーと12月末をめどに合併する。デイベンシーは合同会社から株式会社へ組織変更する。三隅氏は社長に就任する。デイベンシーは主に法人顧客に対して施設管理・食品衛生分野の製品やサービスを提供する。今後、日本独自の製品展開・営業活動や様々な施策を推進する予定。シムトアイ、同社のデイベンシー事業との協力関係は継続し、製品開発・供給や共同調達で提携する。(発表は10月30日)。